

平成 29 年 2 月 25 日(日)に、第 3 回公開講座が行われました。

場 所：茨城女子短期大学

演 題：「読みにつまずきのある子どもへの指導～多層指導モデル MIM をもちいて」

講 師：海津 亜希子 先生（国立特別支援教育総合研究所）

参加者：会員 26 名，一般 63 名

#### 【研修内容】

- 1 MIM を開発した背景
- 2 MIM というモデル
- 3 MIM で何を教えるか
- 4 MIM におけるアセスメント
- 5 MIM における指導
- 6 MIM 研究から見えてきたこと
- 7 新たな挑戦 — 地域ワイドの研究，他の教科へ
- 8 より子どもも先生もアクセスしやすいように
- 9 研究者，実践者が支え合う場
- 10 エビデンスが示されたことで
- 11 最後に

よく「様子をみましょう」と言ってしまうことがありますが、「9 歳までに適切な教育が受けられなかった子どもの場合，その内の実に約 70 %が読みにつまずきを生涯もち続ける可能性があることが報告されている」

(National Center for Learning

Disabilities)とあるように，読みにつまずきのある子に「様子をみましょう」とは言っていられず，早いうちからしっ

かり指導していかなければならないという開発の思いを聞きました。

そして，指導を行うためには，早い段階からアセスメントを行い，ニーズのある子どもを明確にして指導していくことが大切であると

いうこと，読みで曖昧になってしまう部分を視覚化，動作化することでわかりやすくすることなど，ステージごとの指導内容を体験し

ながら，楽しく学ぶことができました。

この研修をきっかけにして，MIM を使った指導が，多くの教育機関で行われるようになってほしいと思います。

次回は，3 月 18 日(土)水戸市福祉ボランティア会館(ミオス)で，事例検討会を行います。

会員限定の研修会になりますが，多く

の方の参加をお待ちしております。また，9 月 30 日，10 月 1 日は，つくば国際会議場で，第 13 回全国大会を行います。こちらも

，ご協力，ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

※文責 菊間みゆき